

2024年3月期中間決算説明会資料

日東工器株式会社

東証プライム:6151

技術で、人を想う。



	01 2024年3月期中間 決算概要	P.04
CONTENTS	02 2024年3月期 業績計画・株主還元	P.18
	03 サステナビリティへの取組み	P.22

エグゼクティブサマリー



2024年3月期 中間

売上高、営業利益ともに前年同期比同等で推移

・ 売上高は前年同期比-0.3%、値上げの効果により販管費の増加分を吸収し営業利益率は 前年同期と同じく12%台を維持

2024年3月期 計画

増収増益を引き続き目指す

エネルギー価格高騰や材料調達難の影響への懸念や、インフレなど多くの不確定要素がある中、需要動向を的確にとらえた販売活動を積極的に展開することで増収増益を計画

株主還元

24年3月期の年間配当金は62円を予想(前期比+9円)

・株主還元基本方針:連結配当性向40%を目処



	01 2024年3月期中間 決算概要	P.04
CONTENTS	02 2024年3月期 業績計画・株主還元	P.18
	03 サステナビリティへの取組み	P.22

2024年3月期中間 連結業績

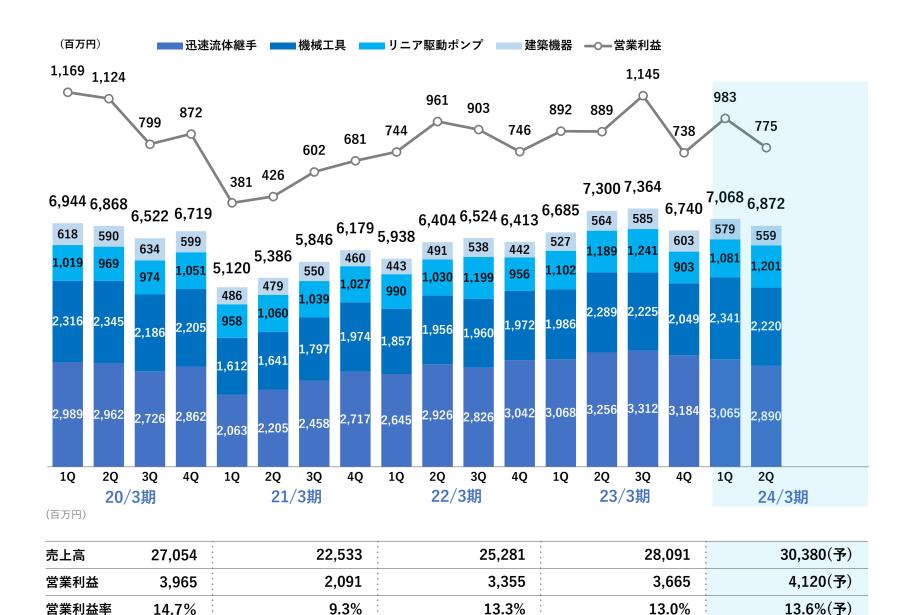


(単位:百万円)	23年3月期 中間		24年3月期 中間		増減額	増減率
	額	率	額	率	H"###	
売上高	13,986	-	13,941	-	-44	-0.3%
- 売上原価	7,574	54.2%	7,382	53.0%	-191	-
売上総利益	6,411	45.8%	6,558	47.0%	147	+2.3%
販売管理費	4,629	33.1%	4,799	34.4%	170	+3.7%
営業利益	1,782	12.7%	1,758	12.6%	-23	-1.3%
経常利益	1,922	13.7%	1,861	13.4%	-61	-3.2%
特別利益(補助金収入)	-	-	147	1.1%	147	-
親会社に帰属する 当期純利益 	1,293	9.2%	1,311	9.4%	17	+1.4%

- 売上高は前年同期比ほぼ同 水準で推移
- ・昨年からの値上げの効果に より売上総利益率は前年同 期よりUP
- ・ベースアップにより販管費が増加するも、営業利益率は前年同期比ほぼ同水準を 維持
- 新工場建設にともない福島 市からの「用地取得助成 金」(147百万円)を特別 利益に計上

連結売上高/営業利益 四半期推移





【24/3期 中間】

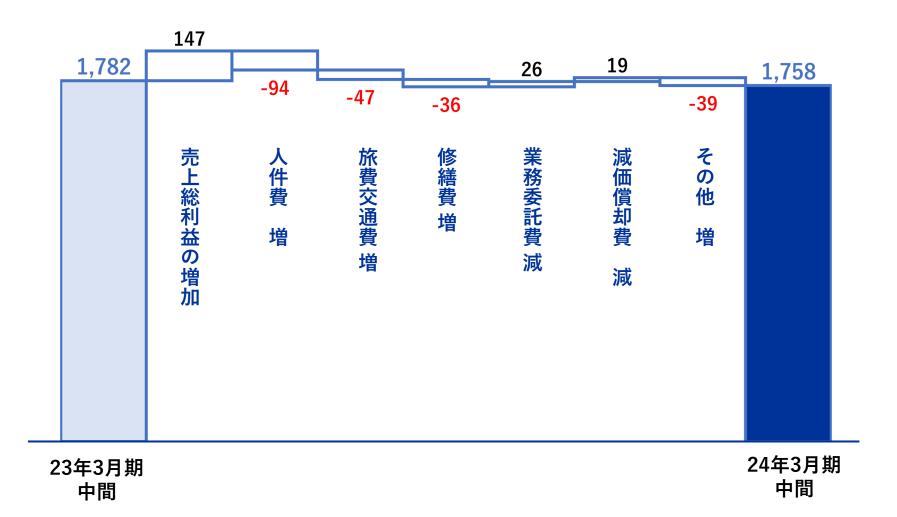
・営業利益の減少は当社主力の 迅速流体継手事業の売上減少 が主な要因

(ご参考) 23/3期2Qは半導体、リチウム 電池業界における迅速流体継手事業が好調 に推移し業績に寄与したため

営業利益変動要因



(単位:百万円)



営業利益は減収により影響を 受けるが、前年同期水準を維持

【内訳】

- ・前年同期比減収となるものの 値上げの効果により総利益は 増加
- ・ベースアップ等により人件費 は増加するも将来の成長に必 要な費用
- 営業活動の活発化により旅費 交通費が増加

7

地域別売上実績



(単位:百万円)	23年3月期 中間	24年3月期 中間	増減率
国内	9,103	9,199	+1.1%
海外 海外比率	4,882 35.0%	4,741 34.0%	-2.9%
米州	1,067	1,260	+18.1%
欧州	1,009	1,018	+1.0%
東アジア	1,569	1,243	-20.8%
アジア・大洋州	795	821	+3.4%
東南アジア	441	396	-10.1%

- 国内は前年同期比微増
- ・海外は、主に中国でのリチウムイオン電池の電解液用 迅速流体継手の売上高の減少が要因
- ・ 米州は迅速流体継手、機械 工具、リニア駆動ポンプの 売上が好調
- 欧州はブロワの売上高が減少

為替の営業利益に与える影響



(単位:円)	23年3月期 中間	24年3月期 中間	24年3月期 計画	通貨別 営業利	益影響額 (百万円)
USドル	136.68	144.99	130.00	USドル	15
ユーロ	142.67	157.60	140.00	ユーロ	26
英ポンド	165.71	182.95	160.00	英ポンド	4
豪ドル	93.90	95.77	85.00	豪ドル	-2
タイバーツ	3.85	4.07	3.90	タイバーツ	-112
※中間は6月末レート				合計	-68

主にタイバーツの為替の影響 が大きく、タイ工場の仕入れ と未実現利益によるもの

連結貸借対照表



自己資本比率は87.4%と高水準を維持

(単位:百万円)	23年3月期	24年3月期 中間	増減額
流動資産	48,933	48,644	-289
現金及び預金	26,925	25,651	-1,274
棚卸資産	9,153	9,959	805
固定資産	17,901	18,878	976
資産合計 	66,835	67,522	687
流動負債	4,403	4,037	-366
固定負債	4,460	4,460	0
純資産	57,971	59,024	1,053
負債純資産合計	66,835	67,522	687

連結キャッシュ・フロー



将来的な成長のための投資を実行

(単位:百万円)	23年3月期 中間	24年3月期 中間	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	1,002	1,437	434
投資活動による キャッシュ・フロー	-931	-3,229	-2,297
財務活動による キャッシュ・フロー	-485	-1,356	-871
現金及び現金同等物 の期末残高 	14,588	17,418	2,830

セグメント別売上高

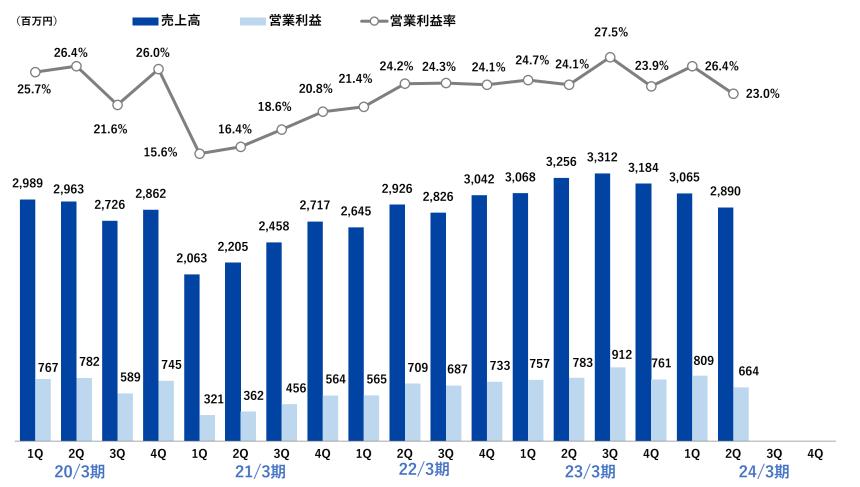


(単位:百万円)	23年3月期 中間	24年3月期 中間	増減率
売上高	13,986	13,941	-0.3%
迅速流体継手	6,325	5,956	-5.8%
機械工具	4,276	4,562	+6.7%
リニア駆動ポンプ	2,291	2,283	-0.4%
建築機器	1,092	1,139	+4.3%
営業利益	1,782	1,758	-1.3%
迅速流体継手	1,541	1,473	-4.4%
機械工具	297	343	+15.4%
リニア駆動ポンプ	-35	-42	_
建築機器	-21	-15	_

機械工具、建築機器は前年 同期比増となるが、当社主 力の迅速流体継手の売上高 が前年同期比減

迅速流体継手事業 四半期業績推移

(単位:百万円)	23/3期中間	24/3期中間	増減率
売上高	6,325	5,956	-5.8%
営業利益	1,541	1,473	-4.4%
営業利益率	24.4%	24.7%	+0.3pt





【24/3期 中間】 売上高 前年同期比 -5.8% 営業利益 前年同期比 -4.4%

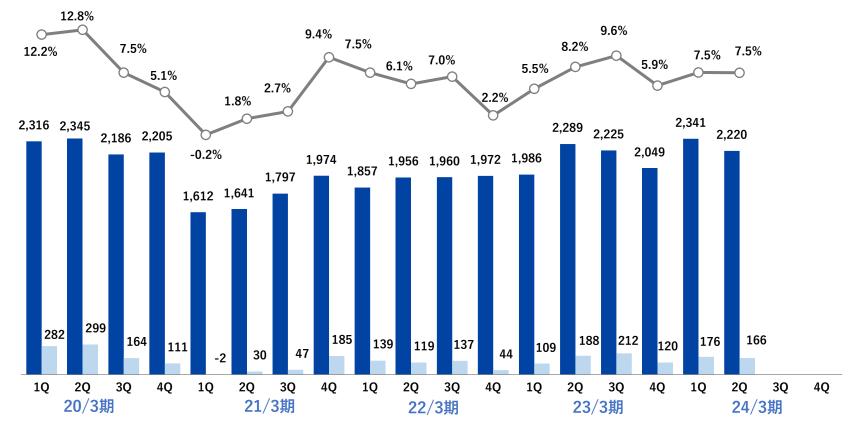
- ・半導体向け製品及びリチウムイオン電池の電解液向け製品の需要減少
- 前年同期比減収減益となるが、中間(累計)営業利益率は前年同期と同等の24%台を維持

13

機械工具事業 四半期業績推移









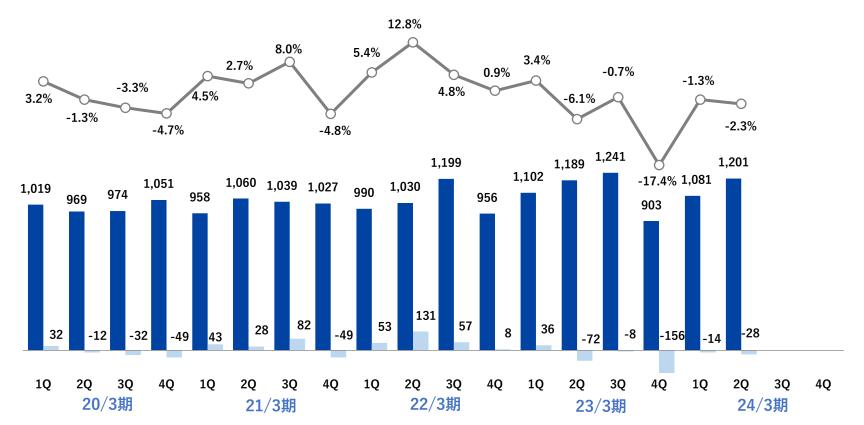
【24/3期 中間】 売上高 前年同期比 +6.7% 営業利益 前年同期比+15.4%

- 対面営業を再開できたこ とで国内外の売上げが回 復基調
- 増収にともない増益、営 業利益率は23/3期中間 (累計)が6.9%に対し、 24/3期中間(累計)は 7.5%と改善

リニア駆動ポンプ事業 四半期業績推移

(単位:百万円)	23/3期中間	24/3期中間	増減率
売上高	2,291	2,283	-0.4%
営業利益	-35	-42	_
営業利益率			





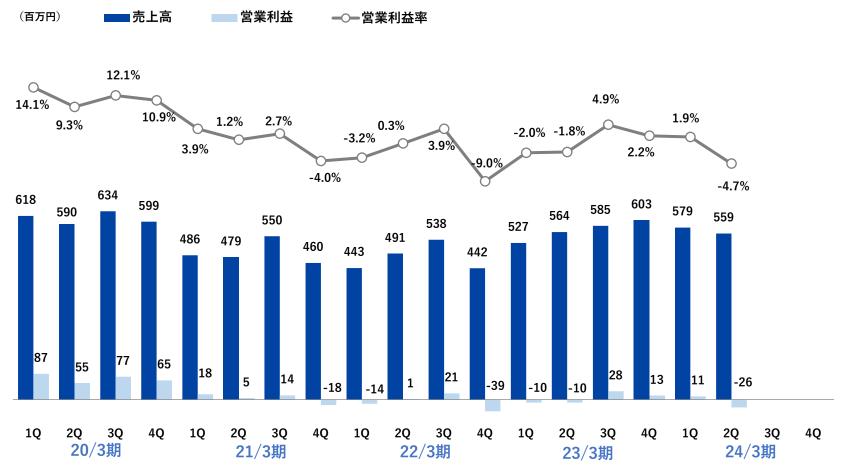


【24/3期 中間】 売上高 前年同期比 -0.4% 営業損失 42百万円

- ・昨年の価格改定前の駆け込 み受注の影響により特に欧 州における需要が減少する も前年同期とほぼ同等の売 上高水準を維持
- ・減収及びタイバーツ高など 為替の影響により営業損失 を計上

建築機器事業 四半期業績推移

(単位:百万円)	23/3期中間	24/3期中間	増減率
売上高	1,092	1,139	+4.3%
営業利益	-21	-15	_
営業利益率	_	_	_





【24/3期 中間】 売上高 前年同期比 +4.3% 営業損失 15百万円

- 国内の公共建設投資が堅調に 推移
- 増収ながらも、資材高騰・人 手不足により大型物件が遅延 し、利益率に影響し営業損失 を計上



今後の需要拡大に対応可能な供給体制を整備

福島おおざそうインター工業団地内に、約2万8,000㎡の用地を取得、新工場を建設

- ●白河日東工器(白河市)を存続会社としてメドテック(山形市) を吸収合併。名称は「東北日東工器株式会社」とする。
- ●日東工器グループの全製品を生産できるマルチ工場
- ●最新設備の導入による生産の省力・省人化および効率化
- ●安定的な供給体制の整備と売上収益向上を目指す

用地(所在地)	福島県福島市大笹生宮ノ下1-1ほか
事業内容	機械工具、電動ドライバ「デルボ」、建築機器(ドアクローザ)、迅速流体継手「カプラ」、小型ポンプの製造
土地契約締結日	2023年6月
新工場稼働開始	2025年春を予定
投資額	合計約112億円 → 【変更後 】 159億円



投資金額の変更

建設および設備コストの上昇により投資金額を159億円へ変更

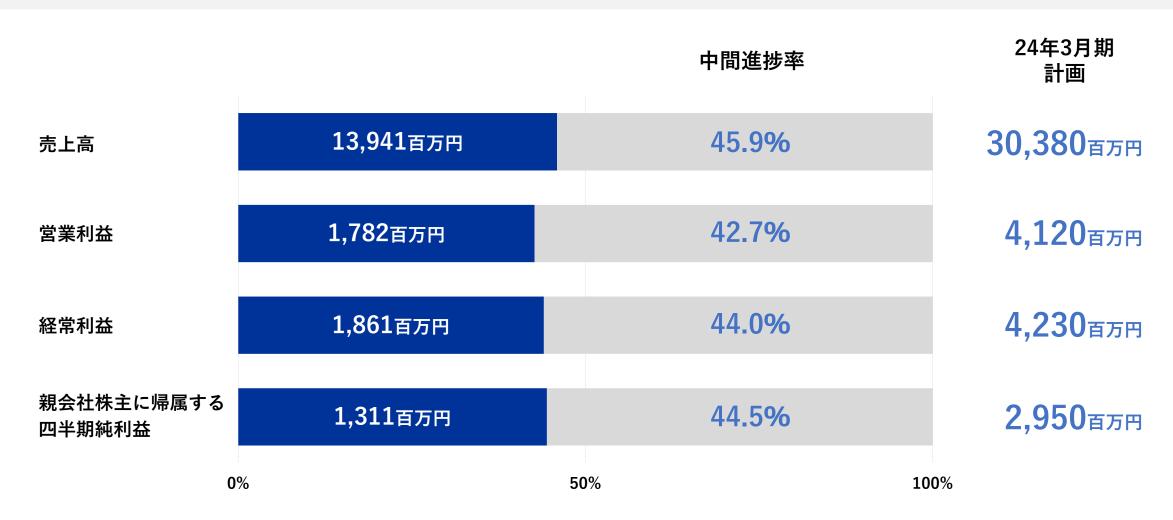
※福島市からの「用地取得助成金」(約1.5億円)は当中間決算において 特別利益として計上。「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地 補助金」(約23億円)の受給額は補助事業鵜完了後の2026年頃に確定 するため、確定次第開示予定。



01 | 2024年3月期中間 決算概要P.04CONTENTS02 | 2024年3月期 業績計画・株主還元P.1803 | サステナビリティへの取組みP.22



国内外とも市場在庫の調整が付き、通期業績予想は達成の見込み



2024年3月期 業績計画(連結)



(単位:百万円)	23年3月期 実績	24年3月期 予想	増減率
売上高	28,091	30,380	+8.1%
迅速流体継手	12,821	13,824	+7.8%
機械工具	8,551	8,941	+4.6%
リニア駆動ポンプ	4,436	5,121	+15.4%
建築機器	2,281	2,494	+9.3%
営業利益	3,665	4,120	+12.4%
営業利益率	13.0%	13.6%	+0.6pt
経常利益	3,818	4,230	+10.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,625	2,950	+12.4%

売上高 前期比 +8.1%営業利益 前期比 +12.4%

- 迅速流体継手は新規事業・新分野の設備投資需要を積極的に取り込む
- 機械工具・建築機器は 対面販売の活発化、建設 需要の増加を背景に売上 増加を見込む
- リニア駆動ポンプは 新製品上市による新規需 要の開拓

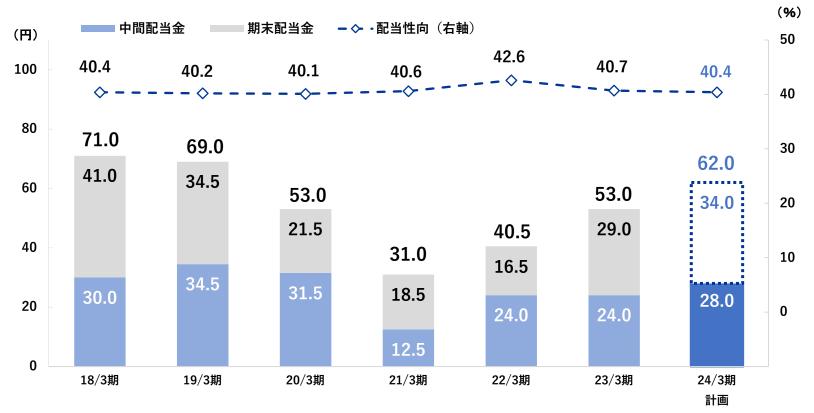
株主還元





※2023年9月末時点での想定値

配当推移



【株主還元基本方針】 連結配当性向40%を目途

- 3期連続増配
- 経済情勢、株価等を 総合的に勘案し、 2023年2月より 自社株買いを実施。 5月31日までに52万株、 総額999百万円で取得終了。



	03 サステナビリティへの取組み	P.22
CONTENTS	02 2024年3月期 業績計画・株主還元	P.18
	01 2024年3月期中間 決算概要	P.04

サステナビリティ基本方針



サステナビリティ基本方針

私たちは、社会への貢献、従業員の幸福、会社の発展という経営方針の実践を通じて、社会の、そして当社のサステナビリティの実現を目指します。

社会への貢献

「省力・省人化」をテーマに時代のニーズに応える 独創的な製品を開発、製造、販売し、広く社会に貢献することを目指す。

従業員の幸福

経営活動を通じて、

従業員とその家族が幸福になることを目指す。

会社の発展

社会への貢献と従業員の幸福を実現することで、 企業の発展を目指す。

サステナビリティ基本方針 社会への 貢献 社会と 経営方針 当社の 持続成長 従業員の 会社の 発展 幸福

経営方針の実践が、社会のサステナビリティの実現と当社の持続 的な成長との両立を目指すことと同義であると考えています。

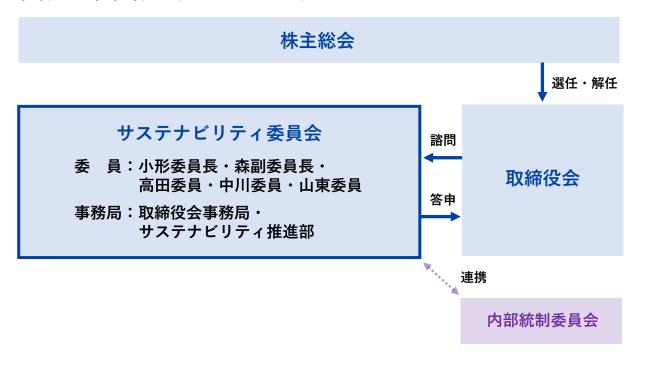


サステナビリティに関する、基本方針やマテリアリティ(重要課題)の審議、サステナビリティに 関する各種確認を行う組織。多様な視点を考慮したメンバーで構成しています

日東工器サステナビリティ委員会

- 取締役会の諮問機関として 2023年5月10日に設置
- ●各種審議を行い、取締役会へ答申

組織上の位置付け(2023年5月10日現在)





日東工器グループと社会のサステナビリティ(持続可能性)を実現するために、 経営方針と関連する、マテリアリティ(取り組むべき最も重要な課題)を制定しました。 今後これらの実現に向けて努めてまいります

経営方針	マテリアリティ
社会への貢献	1. 事業活動を通じた地球環境への貢献 2. 産業界の省力・省人化と自動化への貢献
従業員の幸福	3.「技術で、人を想う」人材が集い、活躍する環境の実現
会社の発展	4. 持続可能性を高めるガバナンスの構築5. ステークホルダーとの相互理解の促進6. サステナブルなサプライチェーンの構築



独創的で高品質な製品の開発および海外を含めた新市場の開拓に挑戦していくため、 人材育成に取り組んでいます。

社是

「開発は企業の保険なり」

- プロフェッショナル人材の採用
- 階層別の研修、様々な研修を実施し人材の育成
- 各自が自己啓発目標と他者育成目標を定める 当社独自の目標管理制度
- 従業員が能力を発揮できる社内環境の向上
- 健康経営の推進
- 従業員が安心して働ける環境づくり



自らの自己啓発と共に、従業員同士で育成を促す

離職率 (2023年3月期末) **5.3**%

人的資本に関する指標及び目標

指標	実績 (2023年3月期末)	目標
管理職に占める 女性労働者の割合	6.9%	2027年3月までに 8%
男性労働者の 育児休業取得率	27.3%	2027年3月までに 50%
労働者の男女間の 賃金の差異	61.8%	2027年3月までに 65%

ESG情報のHP掲載

https://www.nitto-kohki.co.jp/prd-info/esg.html



企業価値向上のため、サステナビリティに関する活動を推進してまいります

- ●サステナビリティ基本方針およびマテリアリティに基づく 活動のスタート(2024年度)
- ●統合報告書の発行(2024年8月発行予定)



当資料に記載されている将来の業績の見通しは、本資料発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、 これらの見通しと大きく異なる結果となる場合がありますことをご承知おきください。

取材のお申し込み先

経営企画部石井・大浦

TEL: 03-3755-9970 E-mail: ir@nitto-kohki.co.jp



CONTENTS

APPENDIX 中期経営計画

中期経営計画 目標数値

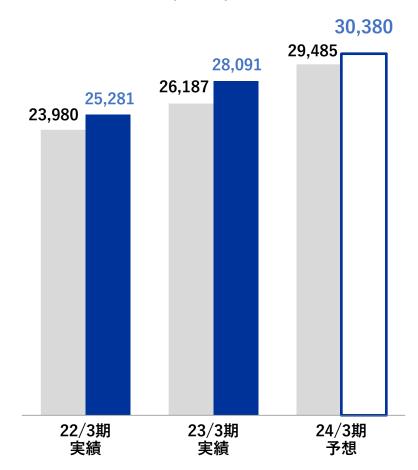


売上高 (百万円)

営業利益

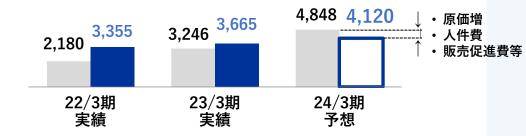
(百万円)

■当初中期経営計画値(2021.4)



■当初中期経営計画値(2021.4)





- 売上高は中期経営計画数値を 上回る業績で推移
- 前期比は売上高が8.1%増、 営業利益が12.4%増を見込む
- 営業利益については、 中期経営計画の当初計画値に 達しないものの営業利益率は 13.6%と前期よりUPする見込み

中期経営計画2023(21/3期-24/3期)

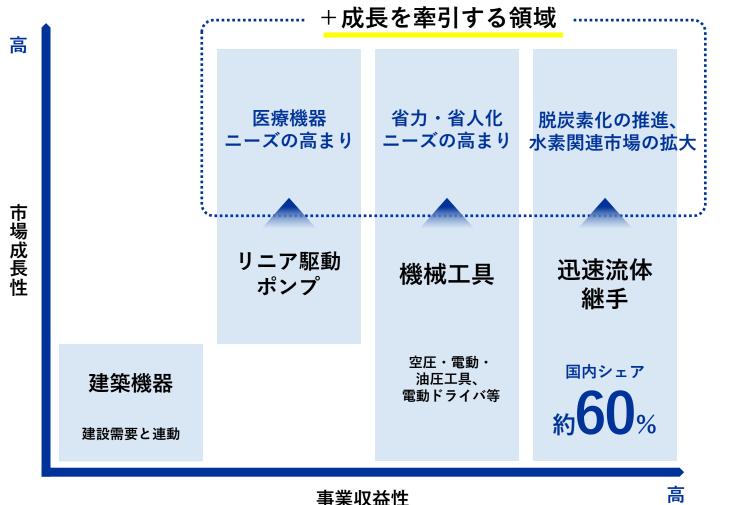


基本方針		施 策
ニューノーマルにおける あらたな事業戦略の確立	海外事業	海外でのブランド認知向上
		海外における新規販売チャネル開拓
	国内事業	日東工器グループのネットワークを駆使した、販売網の展開
		新分野・新ニーズの開拓
新製品・新規事業の開拓	脱炭素社会・新エネルギー分野の新規開拓	FCV水素充填用製品のラインナップ拡充と それ以外の水素燃料関連市場の新規開発
	自動化、高機能・高付加価値製品の開発と シリーズ拡充	エア工具、電動工具、デルボ市場の深耕と拡大
	医療機器メーカーブランド力の向上	_
新しい生産体制の構築	生産体制の最適化	各生産工場のボーダレス化の推進
		自動化設備導入による効率化
		IT機器でのデータ解析、運用による見える化
	購買の合理化	各種システム導入による在庫最適化
	脱炭素の取り組み	再生可能・新エネルギーの利活用・促進
組織体制の強化	ガバナンス強化、コンプライアンス遵守、新システム導入、ブランド浸透	
「社会への貢献」と事業活動の両立	省力・省人化によってさらなる社会貢献	

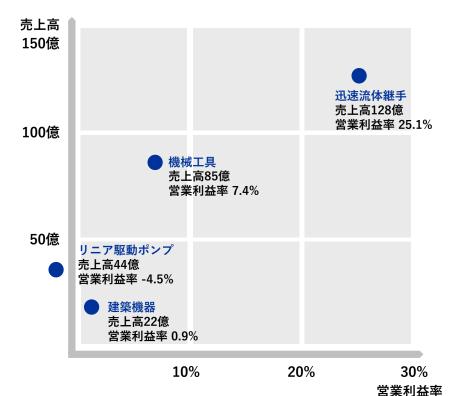
安定+成長 事業ポートフォリオ



安定した収益事業基盤と技術力、信頼性を強みに成長市場を開拓し、収益の拡大を目指す



(ご参考) セグメント別売上高・収益性(23/3期)





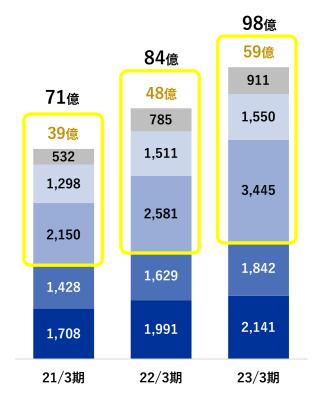
コロナ禍においてオンラインでの営業活動を積極的に実行、事業拡大に向け認知度向上を図る

医療・水素ビジネス市場の掘り起こし • 水素関連展示会、「Hydrogen Technology Expo グローバル営業強化 2022」(ドイツ ブレーメン)出展 製品・サービス動画を99本制作し展開 米国では新規フォークリフトメーカー向け引き合い 欧州では水素タンクメーカー向け引き合い アジア地域の売上拡大 アジア※地域の販売店数増加 アジア地域の営業強化 22/3期末 コロナ禍でバーチャル展示会や 49ネ+ オンライン商談を積極的に実行 コロナの行動制限解除後は オンライン×リアルで対応

海外売上高推移(単位: 百万円)

■米州 ■欧州 ■東アジア ■アジア・大洋州 ■東南アジア

アジアエリアは20%の増収を継続



※:アジア・・・東アジア(中華圏、韓国、モンゴル)、アジア・大洋州(豪、マレーシア他)、東南アジア(インド、対、ベトナム他)



需要拡大に向け、燃料電池車用(FCV)以外の製品ラインナップを拡充、営業活動を強化

日本初の燃料電池車(FCV)に搭載 高圧水素充てん用 迅速流体継手を開発 (2002年)

高圧水素充てんノズル「HHVカプラ 70MPa /35MPa」

水素ステーションに設置され、 燃料電池自動車に高圧水素を充てん

2022年5月に製品リニューアルを実施

- ・操作性を向上
- ·分離防止機構搭載
- ・軽量化





製品ラインナップ拡充により、水素社会の実現に貢献してまいります

様々なモビリティ、 定置式/移動式燃料電池への水素充てん FCフォークリフトや 水素FC船への水素充てん